速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月24日
10：00発行　№18
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

水戸へ支援物資

「避難村」開設・運営

支援行動レポートvol. 6

大地震から13日目の３月23日、ＪＲ総連は、19日の仙台に続き、被災地のＪＲ東労組水戸地本へ支援物資を運びました。途中、常磐道は一般車両も通行が可能となりましたが、路面のところどころに傷みが見られるのは、やはり地震の影響です。また、連休明けには給油待ちの列が解消した都内のガソリンスタンドに比べ、水戸市内は今でも300㍍もの車列ができています。

武井委員長と山田国際部長は地本事務所に到着すると、早速、支援物資を下ろします。急遽、ＪＲ西労の協力を得て西日本の山間地から集めたタンクに入れた満タンのガソリンには、思わず「おぉー！」と歓喜の声が上がります。

その後、ミーティングに同席し、水戸地本では各支部で組合員の避難先の把握や、職場への激励行動がおこなわれていること、広域避難している組合員への激励検討などが行なわれているなど、状況を伺いました。また、水戸地本は独自に「避難村」を開設し、東京地本と協力して運営をおこなうなど、長期スパンでの支援活動を続けます。

【写真上から】届けられた物資に喜ぶ組合員／水戸市内で給油待ちの車列／支援物資に貼られたメッセージ／水戸地本でのミーティングの様子／ボードに書き込まれた支援の行程